

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぼけっと 新宮中央駅教室
公表日	令和7年 3月 20日
利用児童数	35人
回収数	15人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14件	0件	0件	1件	大部屋はお集まりができる広さがあり、個別の部屋は1対1で活動できるようなと思います。	個別を重視しつつ、小集団での活動も企画し、楽しく支援していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11件	4件	0件	0件	最近、職員の出入りがあり、現状の人数で適切なのかまだ分からない。休園することはないので大丈夫なのかなとは思っています。	新規職員に関しても、順次研修を行いセラービーをしております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15件	0件	0件	0件		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15件	0件	0件	0件		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15件	0件	0件	0件	子どもの困りごとが、言葉が遅いことなどでSTの先生がいてくださったから良いと思います。後は、PT/OTの先生もいるといういろいろな視点で見ただけなので嬉しいかなと思います。最近、ペロの使い方の支援をしていただいて、発音がよくなりました。	多様な専門性をもって、お子さまたちを支援したいと考えております。多角的な視点での支援を目指してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14件	0件	0件	1件		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15件	0件	0件	0件		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15件	0件	0件	0件	困りごとや要望に応じて支援して下さります。幼稚園の間の児童発達支援だけでなく、小学生になってからの放課後等デイのような支援もあつたら良いと思います。	子どもも、進学後も支援させていただきたいと考えております。ご要望を受け止め、検討して参ります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15件	0件	0件	0件		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12件	1件	0件	2件	毎回違うことをしてくれるので、子どもも楽しんでます。	お子さまのモチベーションを高めながら、より楽しい支援を目指していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	3件	3件	5件	4件		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15件	0件	0件	0件		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15件	0件	0件	0件		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	3件	3件	5件	4件		
保護者 への 説明 等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	15件	0件	0件	0件	お迎えに行くと今日の活動の内容がきけます。	お迎え時の短い時間にはなってしまうので、要点は口頭でお伝えし、その他にも一日の様子を連絡帳にも書かせていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13件	2件	0件	0件		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15件	0件	0件	0件		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0件	3件	8件	4件	保護者会が企画されたら参加したいです。	保護者様同士の交流の場は大切であると感じております。保護者会だけでなく、様々な交流の機会を設けていきたいと考えております。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10件	0件	0件	5件		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14件	0件	0件	1件		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11件	0件	0件	4件		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13件	1件	0件	1件		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7件	3件	0件	5件		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5件	2件	0件	8件		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11件	1件	0件	3件		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11件	0件	0件	4件	まだそのような場面にあつていないためわからない。	事故・けが等が発生した際にはすぐにご連絡させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15件	0件	0件	0件	毎回、楽しみにしています。嫌がらずに通っています。	引き続き、お子さまが安心して通えるような環境を整えていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15件	0件	0件	0件	毎週行くのが楽しみ我が子です。行ったことを伝えてくれるのが嬉しいです。	遊びやおもちゃが一定化しないよう、楽しい遊びを検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15件	0件	0件	0件	通いだしてから親から見ても成長を感じることが増えました。発音がよくなったので、満足しています。	保護者様との関りを大事にしながら、お子さまに関してお気軽にご相談できるような雰囲気づくりを大切にしていきます。

## 事業所における自己評価結果

公表		事業所における自己評価結果				
事業所名		てらびあぼけっと 新宮中央駅教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5件	1件	個室・大部屋に分けてスペース確保ができています。 来所人数に応じて部屋割をしている。	大部屋と仕切っているパーテーションはすでに修理済み。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5件	1件	マンツーマンでの対応を行っている。	職員の風邪などによる、職員不足は改善されてきている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6件	0件	室内はすべてバリアフリーで配慮されている。	定期的の確認を行い、劣化等がないかも確認する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6件	0件	毎日清潔に掃除を行っている。消毒・換気を行っている。	掃除の仕方を常に見直し、感染症流行時期等にも備えて職員間で行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6件	0件	子どもが落ち着かないとき等に、別用途意している。	環境設定だけでなく、その時の声掛けや対応などにも統一性を持っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6件	0件	職員同士で話し合っている。	会議だけでなく、ふだんから意識して改善点がないかを目を配っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5件	1件	保護者等から意向などがあつた際は、職員内で共有している。	パート・アルバイトに対しても密に共有していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5件	1件	開けた場にする事でいつでも話せるようにしている。情報の共有を行っている。	セラピー対応をしないアルバイト等に対しても質問を行っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3件	3件	指摘された点はすぐに対応し、同じことがないように取り組んでいる。	第三者の外部評価があることを周知していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5件	1件	研修・勉強会などのお知らせがあれば、都度伝えている。	研修が受けられるような調整を行っていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6件	0件	1人1人の個別プログラムがある。	支援プログラムも公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6件	0件	プログラム作成は、個々に細かく作成されている。	アセスメントに限らず、日々の中で要望があれば職員間で共有し、プログラム化を検討している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6件	0件	子どもに対して気になることがあれば、都度話し合う。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6件	0件	児発管と職員とのコミュニケーションをとり、子どもにとっての最善を検討が行われている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5件	1件	子どもの行動に着目した療育が方針のため、常に意識している。	職員の主観とならないよう話し合い、すべての職員が標準化されたツールに沿って確認できるようにしている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5件	1件	管理者・児発管で確認を行っている。その後、全職員に共有している。	職員内で5領域に関する理解を深めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5件	1件	職員同士話し合って決めている。職員とチームで行っている。	アルバイトに対しても、意見を言ってもらっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5件	1件	子どもの成長に合わせて決めている。	同じプログラム名であっても、内容を少しずつ変化させていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6件	0件	全ての子どもに対して、小集団を意識した計画書を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6件	0件	前回までの子どもの様子についても再度確認しあい、最終的なその日のプログラムを話し合う。	支援経過の記録にも記載し、情報共有を徹底している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6件	0件	毎日行い、特に気になる点は話し合う。	当日内で十分に時間が取れない場合には、別日にて話し合う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6件	0件	1人1人記録をしている。記録に残すとともに、終礼時に振り返っている。	記入漏れがあつた場合は、その時の職員に質問し、記入漏れがないようにしている。

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6件	0件	定期的に見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5件	1件	情報の共有を行っている。	新規入職者に対しても、順次、子どものことについて説明している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4件	2件	必要に応じて園訪問を行っている。	状況にあわせて、各所と連携していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4件	2件	連携を図っている。	当事業所からも、保護者同意のうえで情報提供依頼などを行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1件	5件	ニーズのあった場合に、就学前や就学後に情報共有を行っている。	就学に向けての面談等の際に、移行支援に向けてより積極的に保護者に伝えていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4件	2件	業務に関することも含め、児童についても必要な場合は助言をもらっている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0件	6件	検討中である。	実施していない。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6件	0件	送迎時に必ず伝えている。	送迎時での情報共有では不足した場合は、面談の調整もやっている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4件	2件	家庭の様子などの聞き取りから、保護者等の同意を得て適宜情報提供などの機会を設けている。	ペアレントトレーニングや交流会に関して、現在検討中である。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5件	1件	保護者に説明を行っている。	保護者等から、質問があった場合にもすべての職員が説明できるように研修の場を設けている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6件	0件	聞き取りを行っている。	表記の件についての視点を常に持ち、子どもの尊厳を遵守しているかどうかを職員同士も意識あって支援に携わっている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6件	0件	日程調整を行い、時間を確保して行っている。	説明をしたうえで、疑問点等がないかこちらから必ず質問を行っている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6件	0件	ニーズがあれば、すぐ対応している。必要に応じて相談や面談をしている。	面談後も、しばらくの間は家庭での様子をうかがい、支援に活かしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0件	6件	実施していない。	検討中である。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5件	1件	保護者からの相談や申し入れの対応は迅速に行われている。	保護者等自身からの声掛けに不安があるときは、職員からゆっくりと声掛けを行い、相談・面談がしやすい環境を心掛けている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6件	0件	ブログ・SNSを利用して日頃の様子を伝えている。定期的にお手紙を出している。	定期的に発信しているが、SNS等については発信する頻度を増やしていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6件	0件	鍵がかかるところに保管している。	一部の個人情報に関しては、特定の職員のみが扱えるように、統制をとっている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6件	0件	子ども本人に対しては、言葉だけでなく視覚的なイラストやプリント等も用いてコミュニケーションをとっている。	保護者等に対しては、伝え方を工夫して、しかし、論点が伝わるように情報伝達を行っている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0件	6件	実施していない。	検討中である。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4件	2件	定期的に行っている。マニュアルが指示されている。	新規入職者に対しても、順次、マニュアルの教育を行っている。	

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4件	2件	定期的に訓練を行っている。	新規入職者に対しても、順次、教育を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4件	2件	アセスメントやモニタリング時に必ず確認している。てんかんを持っている子どものことは、全員周知している。	共有ファイルにも記録に残し、いつでも確認ができるようにしている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3件	3件	契約時に確認し、モニタリングの際も毎回確認している。	共有ファイルを確認するように、職員内で促していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5件	1件	危険性が考えられる物事に関して、その場で共有し、迅速に対応している。	環境設定だけでなく、その時々々の注意する点や対応方法も考慮したやり方を行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5件	1件	契約時に確認しており、都度質問があれば説明している。	安全確保に努めていても、けが等が発生した場合は、即時に電話でお伝え、またはお迎え時にお話している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5件	1件	ヒヤリしたことがあると、すぐに共有し再発防止につなげている。	ほんの些細なことも日頃から意識してみるように、毎月の記載を必須としている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5件	1件	定期的な研修を行うことにより、再度確認している。	虐待に当てはまる事例とは何かを検討している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4件	2件	気になる点があれば、話し合っている。身体拘束を行った場合の報告等も決めている。	書式ですべての保護者に身体拘束に関する説明をお渡ししている。同意のサインをもらったうえで、支援にあたっている。

## 事業所における自己評価総括表

公表	令和7年 3月 20日			
○事業所名	てらびあぼけつと新宮中央駅教室			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 25日		～ 2025年 1月 31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	2024年 12月 25日		～ 2025年 1月 15日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士のコミュニケーションを大事にし、子どもに関する情報共有、支援に関する相談が密にできる環境であること。	職員内でも匿名での相談を受け付け、事業所全体の改善に常に努めている。	管理者と職員だけでなく、職員同士でも積極的に行動ができるような雰囲気づくり、関係性の仲介を引き続き行っていく。
2	事前の危険回避に関する環境設定により、これまで大きなけがや事故等がない。	ほんの些細なことでも共有・ヒヤリハットへの記入をしており、ヒヤリハットに関しては確認後のサインを促すことで必ず確認したかどうかのチェックを行っている。	すでに安全対策を行っている箇所であっても、経年による劣化もあるため、定期的にチェックをしていく。
3	保護者等からの相談があれば、迅速に対応し、対面にこだわらず面談を行っている。また、その際には、子どもの担当者が対応するように調整をしている。	事前に相談したい内容の要点を伺い、面談の際に準備等が必要な場合は十分な準備をしてから面談に取り組むことで、関連した支援まで相談に対応できるようにしている。	全職員が対応できるのが望ましいため、1人の職員が特定の子どもの療育に携わるということは避け、全職員が子どもの細かい特徴までも理解できるように関わっていく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園等との連携を行っているが、頻度は少ない点。 主に、保育園訪問を行っている。 電話等での連携は現状、あまり行えていない。	保護者への連携に関する周知がまだまだ不足している可能性がある。 保護者からの要望をこちらが待っている姿勢のため、事業所外での子どもの様子を知りたくても受身的になってしまっている。	まずは、保護者への周知をより徹底していく。 受身的になりすぎず、普段の支援の中で子どもの気になる点や事業所外での姿が気になった場合は、こちらからも保護者に提案していく。
2	ペアレント・トレーニング等の保護者同士の交流会や、保護者向けの療育に関する説明会等が実施できていない。	サービス提供をしていくなかで、交流会等を実施していくためにはいずれかの療育時間を使わなければならないため。	次年度の子どもの受け入れをしている期間であれば、子どもの定期利用がない日が出てくるため、そういった期間を活用していく。
3	地域との連携や地域社会とのかかわりの機会がもてていない。	様々な規定のなかで、事業所外での療育が困難が現状がある。	事業所内で行えるような、地域への情報発信に向けたイベントを検討していく。 その際は、SNS等を活用して広く知ってもらえるよう工夫していく。